

GROUP2

働き方と仕事

---

## やりがいの実感できる仕事にそれぞれの働き方でとりくめること

座長：松本光史 様（株式会社日本設計）

担当教員：真野洋介（住環境・まちづくり、都市の形態とデザイン）

### Life Sceneの概要

働くことはお金を稼ぐためだけのものではなく、やりがいや達成感をもたらすものである。

しかし、いまの30～50代には現在の仕事にやりがいを感じられない人が増えているという。生活のために必要なお金を稼ぐことは必要だが、消費主義に支配されて、次から次へと新しいモノを買うために働いているだけでは、豊かさは充たされない。

そして、コロナを経験し私たちの働き方は大きく変わりつつある。これまでも働き方は大きなパラダイムシフトをしている。19世紀の終わりまでは1日の労働時間の上限も児童労働の廃止もなかったが、今では週休2日が当たり前となり生産性は向上している。人生100年時代の働き方はどのように変わればいいのか。



### Discussionのテーマ案

- ▷ やりがいのある仕事とはどのようなものか
- ▷ 人生100年時代には誰がどのような働き方を求めるか
- ▷ どうすれば自由で柔軟に仕事や働き方を選択できるようになるか

### Output案

- ▷ 働き方の変化によって人が選択する居住地やオフィスはどのように変わるか
- ▷ ライフとワークが相互に好循環を生み出す都市デザイン
- ▷ やりがいの実感できる仕事と自由な働き方を支える都市とは

### 担当教員からのメッセージ

稼ぐための仕事だけでなく、やりがいのあることに良いかたちで取り組める環境とそのフィールドになる都市・地域について考えます。ライフシフトと場所、組織の関係だけでなく、近隣環境、共創、シェアなど、デザインにつながる視点を持ち、WSに取り組みたいと思います。

## 人生100年時代の豊かな働き方と仕事を創出する 都市・インフラのデザイン要件の抽出

- －働き方や仕事の「豊かさ」とはどのようなものかを説明できるようになる
- －人生100年時代の「豊かな」働き方と仕事を想定できるようになる
- －人生100年時代に働き方や仕事の「豊かさ」を創出するために、都市・インフラがどのような要件を満たすべきかを理解する

# 第一回

## 本日の中心的な議題

### 働き方や仕事が「豊か」とはどういうことか

- －働き方や仕事における「豊かさ」を自らの経験から掘り起こしてみる
- －グループ内で意見を共有して「豊かさ」を構成する多様さと共通する要素を議論する
- －働き方や仕事の豊かさに影響を与えるコトやモノを把握する

# 働き方や仕事「豊か」とはどういうことか

| 豊かさを感じる時  | 豊かさとは   |
|---|---|
| 様々なメンバーと価値観が共有されるとき<br>プロジェクト等が成功した時の達成感          | 多様な立場の人たちとの協働   |
| 問題意識・価値・目標の共有されるとき                                | 対話により多くの「ひっかかり」を持ち、コミュニケーションの中でさまざまな立場の人と問題意識や価値を共有し、社会を良くするために協業するプロセス |
| 外からの刺激・感覚による新たな発見<br>コミュニケーションによる<br>仕事の価値や多様性の向上 | 新しい価値や感動を生み出すことのできる、仕事という価値創出プロセスの柔軟性と多様性の度合いの大きさ                       |
| 達成感<br>失敗・成功などの共有                                 | 選択できる自由   |
| 達成感<br>相手からの信頼<br>自らの成長                           | 心身の健康を保ちながら、意義を感じ、周囲の人との関係の中でいきいきと能力を発揮できること                            |
| 達成感と充実感<br>その後の会食                                 | 自由と多様性<br>変化と新鮮味  |
| 新たな出会い（一期一会）<br>自分が他人に影響を与えているとき<br>チームとして動いているとき |   |
|   | 多様性の容認と共感   |
|   | 多様性と自己欲求の達成   |

# 働き方や仕事が「豊か」とはどういうことか

| 豊かさを感じる時  | 豊かさとは  |
|---|--|
| サバティカルに近い形で別の仕事につくことを会社が認めてくれた時                         | 既定路線だけでなく、その時点での自由な働き方ができること                     |
| 地方の仕事で、ゆったりとした時間の中で心の余裕がある時                             | 地方の仕事なので、非日常のゆったりとした時間の中で過ごす時間                   |
| 都心から地方で環境が変わることでの気づき                                    | 双方の環境の良さ<br>都市・地方、どの場所でも同じように仕事ができること、それを選択できる自由 |
| リフレッシュによるアイデアの広がり<br>フランクで密なコミュニケーション<br>(ワーケーション時において) | 自分の働き方を自由に選べる環境<br>自分も含めた社会の多様性に触れること、それを創り出すこと  |
| 価値観の衝突から新しいものが生み出されるとき                                  |  |
| 様々な経験   | 自分がやりたい姿に対して、働くことが貢献している状態                       |
| 環境や対人の中で自分が変わっていくことを感じているとき                             | 自分が揺さぶられるような体験<br>世界の役に立っているという意義                |

達成感・自らの成長

共感・共有

多様性

自由な時間と場所

新たな出会い

## 第二回

本日の中心的な議題

### 人生100年時代の豊かな働き方や仕事とは

- 豊かな働き方や仕事のために必要なこととは（前回の振り返り）
- 人生100年時代に働き方や仕事の何が変わるか
- 人生100年時代の豊かなライフシーンを考えるにあたって知っておきたいこと

## 豊かさを生み出す場、阻害するコト（個人ワーク：15分程度）

1) 前回のまとめを振り返り、「働き方や仕事」の豊かさを考えるために、**自分が着目していた要素・要件を一つとりあげてください**（このまとめの中に出てきていない「働き方や仕事」特有の視点を追加しても構いません）。

2) 上記の着目点に関して、豊かなライフシーンの生まれるときの状況や場面を改めて思い返してください。**どのような局面で「働き方や仕事」の豊かさは実現していましたか。**

（例：「非日常性から感じる豊かさ」を選んだ場合には、非日常的な経験がどのような状況や環境が整っていたときに行えたのかを考えてみてください）

3) **豊かなライフシーンを阻害しているモノ・コトにどのようなものがあるかを考えてみてください。**

（例：「自由であることで感じる豊かさ」を選んだ場合には、なぜ私たちは豊かさのための「自由な選択」がいつもできていないのかという理由や要因を考えてください）

# 豊かさの要件、阻害するコト

| 豊かさの要素・要件   | 背景・要因  | 阻害するコト・モノ  |
|---|--|--|
| <p>コンテンツ・コンテキスト・ストーリー<br/>（こころで感じる豊かさ）</p> <p>五感で感じるもの 空間・設え・素材<br/>（身体で感じる豊かさ）</p> | <p>共感や承認<br/>目的達成や成長<br/>自由<br/>ゆとり</p>  | <p>対立状態<br/>目標設定がない<br/>提案できない、選択肢がない<br/>時間拘束<br/>居心地が悪い、常に同じ場所</p> |
| <p>人間の関係性と多面性</p>   | <p>多くの才能に触れ、その才能と一つものを作り上げる充実感（多様な人材の集積、ネットワークが都市の豊かさ）<br/>限られたメンバーとの濃厚なコミュニケーションによる信頼と安心感（濃密な人間関係を生み出す地方の豊かさ）</p> | <p>どちらも関係する人々とのコミュニケーションや空間・時間を共有することが前提（リモートでも可だが、何か充たされない感覚）</p>   |
| <p>共感・共有<br/>達成感</p>  | <p>自らの役割が求められていること</p>   | <p>組織人としての制約<br/>（個人として意思決定範囲の制約）</p>                                |
| <p>興味を持ったことをやり、経験できること</p>  | <p>パラレルに仕事を行えるとき</p>   | <p>ブルシットジョブ</p>  |
| <p>他者からの共感・承認</p>   | <p>自分の取り組む仕事・役割の意義を広い視野や時間軸に立って納得感が得られること</p>  | <p>想像力の欠如</p>  |
| <p>時間や場所に縛られないで働くこと<br/>自分のリズムで働くこと</p>   |  |  |
| <p>感覚、現場感の共有</p>  |  |  |

## 第三回

### 本日の中心的な議題

#### 働き方や仕事の変化を支える都市・インフラとは

- 人生100年時代の働き方と仕事の変化（前回の振り返り）
- 働き方や仕事の変化を支える都市・インフラ
- 5月25日の全チーム合同中間報告会について
- （付録）豊かさのふり返りのまとめ／ライフステージに応じたライフシーン（統計資料）

## 都市・インフラをシフトする（グループワーク：30分程度）

- 1) これまでのワークショップの議論を振り返り、人生100年時代にどのような「働き方や仕事」のライフシーンを創出したいか、特定のシーン1つを書き出してください。
- 2) 上記のシーンが、なぜ人生100年時代を豊かにするか、その理由をご記入ください。理由を考えるにあたっては、「現在のライフシーンを取り巻く状況」「人生100年時代に想定される変化」「どのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか」という観点から考えてください。
- 3) 上記のシーンはどのようにすれば、個人・社会が積極的に受け入れるようになるでしょうか。また、豊かなライフシーンを創出するために、都市・インフラをどのように変えていくべきかをご記入ください。都市・インフラのデザインのディテールやプロセスは今後のワークショップで改めて議論を積み重ねていく予定です。今回は、たたき台となるようなアイデアをご提示ください。

# 人生100年時代の働き方

世界中どこにいても仕事をする事ができるし、どこに住んでいて、その周りの世界中の誰とでも仕事ができるようになる

**今まで仕事を一緒にしていなかった人との出会い**が生じ、本当の意味での人類の英知が結集するようなことが起きる

仕事をしながら、学んだり、副業したり、子育てしたり、介護したり、地域活動をしたり、趣味の活動ができる

都市部というより沿岸部や山間部が新たな生活拠点となる生活を持ち、**時間・場所の使い方が自由になる**ストレスの感じる事のない暮らし

**最適な場所や最適な時間**の使い方の中で個人の力を最大に発揮できる働き方

仕事と学びと余暇の境界が曖昧となって、**自分と社会の関係が多様化**する

必ずしも金銭価値だけを目的としない多様な目的のため、会社とか所属によらないで**自由に集い・働いて何かを成し遂げる**

会社に属しながら副業や起業して、**自分の能力と成果で評価される時代**になる

本業・副業、組織・個人、現住地とそれ以外、いろんな意味で**パラレルな働き方・暮らし方**

**豊かさの基準が多様化**する中で、クリエイティブな社会へ変化していく

**企業人としての活動**（大きな経済、大きなベクトル、大きなエリア）、**個人としての活動**（小さな経済、小さいくつかのベクトル、近隣）を**パラレルに日常の中に融合**していく。（あるいは目標を重ね合わせる、折り合いをつけていく）

# 着目する都市・インフラ

| 着目する都市・インフラ  |   |
|--|---|
| 駅前広場、公園、空き店舗（空き家）、道路、路地空間<br>椅子<br>自然<br>※事例：根津にあるアイソメという地域サロン | ヒトと情報が集まる場所に、リアルとバーチャルの共存による相乗効果を期待したい<br>商業的価値の高い一等地を、新たな価値創造のために開放して、質の高い成熟社会を目指したい<br>駅まちデザイン検討会にて都市アセットという概念で境界を越えた議論がされている 小さな事例で具現化ができないか |
| 特定目的に特化したスペース<br>（例えばオフィス）                                     | 人生形成やキャリア形成支援もワークスペースの役割になるなど<br>新しい仕事をつくったり、出あったりする場所  |
| コワーキングスペース   | みんなと働く、今まで働いたことのない人と交流<br>ワーケーション   |
| 多言語対応・他民族の習慣への対応（サービス・ICT）                                     |   |
| 生活拠点利用の経済的負荷の軽減化。<br>都市部というより沿岸部や山間部の生活拠点化。<br>ストレスのない通信能力     |   |
| 空き家や学校、公共施設  | 人生のステージ間の移行、パラレルな暮らしを支援する役割   |
| 交通インフラ（特にマストラ）   |   |
| ストレスのない通信インフラ  | 場所と時間を選ばないで働くための必須項目  |